

年齢	20	歳	性別	男	学生	初診	1989.6.22	作成日	2023.5.27
主訴	鼻づまり（鼻塞）、長年鼻汁が出ている（流濁涕多年）。								P254
病史	患者は幼いころから感冒、咳嗽、鼻塞を常に患って来た。毎回治癒するのだが、その後は鼻竇が通りが悪くなり、年々重くなり、夜の睡眠時に鼻塞して通らず、覚醒し、睡眠時の鼾声が大きくなり、時には生臭い濁涕が流れる。嗅覚は喪失し、頭脹痛がある。大きな病院での検査で「慢性鼻竇炎」と診断された。								
四診所見 (検査)	<b>【望診・聞診・問診・切診】</b> ①体は弱い、精神はしっかりしている ②面色晦滞 ③黄色い涕が時々流れる ④张口呼吸 ⑤語言重濁（語音重濁）								
舌診	① 舌質：淡紅 ② 舌苔：薄黄								
脉診	脉：緩 右寸沈弱								
病位弁証	<b>【五臓：肝・心・脾・肺・腎】</b> <b>【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】</b> <b>【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】</b>								
八綱弁証	<b>【表証・裏証・半表半裏証】</b> <b>【寒証・熱証】</b> <b>【虚証・実証】</b> <b>【陰証・陽証】</b>								

病性弁証	<p>【氣病弁証】 氣虛・氣陷・氣滯・氣逆（肺氣・胃氣・肝氣）・氣隨血脫・氣虛失血・氣血兩虛</p> <p>【血病弁証】 血虛・血熱・血瘀・氣滯血瘀</p> <p>【津液不足弁証】</p> <p>【津液病弁証】</p>
病因弁証	<p>【六淫弁証】 風・寒・暑・濕・燥・火</p> <p>【七情弁証】 喜・怒・憂・思・悲・恐・驚</p> <p>【飲食勞倦弁証】 傷食・中毒・過勞・過逸</p>
病 機	
証 名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	<p>【中医数学診断学 組】</p> <p>【中医症状鑑別診断学】</p>
治則治法	
配穴処方	
処方意義 (按語)	